

第4回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和2年12月2日（水）19：00～20：45

場所：竜王町防災センター 2階大会議室

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議事
土地利用について
- 4 グループワーク
土地利用について
- 5 その他
- 6 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、勝見、北村、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、竹井、森嶋、吉田、石橋

【欠席】

瀧川

※敬称略、順不同

1 開会

事務局：定刻となりましたので第4回竜王町総合計画審議会を始めます。お忙しいところご出席いただきありがとうございます。前々回は、将来のイメージ、前回は人口についてお話いただきました。今回はその基盤になる土地利用についてお話をいただきます。毎回申しておりますが、この審議会は記録のために録音・写真撮影させていただきますのでご了承下さい。新型コロナウイルス感染防止のため町民憲章の唱和は省略します。

2 挨拶

事務局：開会にあたり、桴木副町長よりご挨拶いたします。

副 町 長：こんばんは。総合計画審議会第4回ということで竜王町の将来のまちづくりにご検討いただいています。本日は土地利用についてのご議論をいただくということで、私もこの職になるまでは長年職員として働いておりました。大きな目標・デザインをしながら、そこに向かっていくということで、大きくは平和堂やアウトレットなど、過去の何十年の構想の中で位置づけ、確実に進めてきたものです。今後はコンパクトシティなども含め一定の方向性を定めていますが、さらに10年後以降のことについてもデザインができるものがあれば計画に盛り込んでいただきたいと思います。防災・防犯的には以前から日野川改修や国道8号線というキーワードを持っておりましたが、現実の話としてしっかりと日野川改修の時期も見通しができる、また国道8号線についても改修が進みかけています。そういったこともこの10年間で位置づけしていかななくてはならない状況です。10年以上先を見据えた皆さんのご提案をいただければありがたいと思います。

事 務 局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からもご挨拶いただきます。

会 長：こんばんは。第4回ということでお集りいただきありがとうございます。昨日から12月ということで、慌ただしくなっていると感じています。昨日は近江八幡警察で歳末警戒の出陣式に参加させていただきました。防犯と交通安全も含めて今月いっぱい期間になっていますので、皆さんにもまちの防犯のご注意を願いたいと思います。本日は土地利用ということでご議論いただきます。昨今、ダイハツ入り口や、私の住んでいる小口でも朝のラッシュ時にはたくさん車が通っている状況です。そういうことも含めて考えないといけないと思っております。皆さんの意見も踏まえて考えたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

事 務 局：それでは早速ですが議事に移ります。議事進行は会長にお願いします。

3 議事

土地利用について

【事務局より、資料に基づき説明した】

会 長：ご意見・ご質問がありましたらご遠慮なく出してください。

勝見委員：コンパクトシティ化構想に関して、まちづくりの核についてある程度決まっていると思いますが、今後の状況によって例えば、居住ゾーンや複合ゾーンを変更するなど検討されるのですか。それともある程度このままいくという方向性でしょうか。

事 務 局：コンパクトシティ化構想の中で中心核を定め、ここに書いているように、交流・文教ゾーンの中でメインは竜王小学校の建て替えというのがあります。これがリーディングプロジェクトということで一番に取りかかっています。まずは、竜王小学校を2025年、あと5年後には完成させたいと思います。ご承知の方も多いと思いま

すが、惣四郎川から綾戸までの集落の間、今の図書館のあるところの北側に小学校を移すため、綾戸地区の所有者の方に話をさせていただき、事業を進めることにおおよそ御理解をいただいています。また土地所有者についても、一定の御理解を得ています。住宅地を作らないといけないが法規制で作れないということを、審議会でも議論していますが、住宅地を作れる場所として選定しているのが、竜王小学校と竜王幼稚園の跡地です。そこは宅地で住宅を建てるのが可能なので居住ゾーンにしていきたいと考えています。もう一つ複合ゾーンについては、今の平和堂から北側の小口側のエリアを複合ゾーンとして生活利便施設、生活に必要な施設を集めていきたいと思っています。簡単に進むわけではありませんが、そうしたゾーン分けで町としては考えている状況です。

会 長：他にありませんか。私の方から、先ほどの挨拶でもしましたが現状、朝の渋滞がダイハツ前は特に混んでいます。小口とか林でも民家前をかなりのスピードを出して車が走っていきます。会社勤めの方と一般の方とを区分けしていく必要があると思います。そうしないといつか大きな事故が起きかねない状況です。毎日見ていて、よく事故が起きないなという思いです。そのあたりは緊急で考えていかななくてはならないと思います。

事 務 局：今いただいた意見は、ワークショップをする中でもいただきたいと思います。町も同じことを考えています。例えば、鵜川・小口を通っている道路と、林・川守などを通っている道路は、家が建て込んでいますのであれ以上両側に歩道を付けることは難しいと思います。そういった中で、生活道路をバイパス化することで生活車両と通過車両を分けていくことも考えていけないと思っています。蒲生から日野へ抜けると、前は集落内を通っていたのが田んぼの真ん中をバイパスして集落を迂回して通る道ができています。竜王町もそのように考えていくことも大事で、安全と利便性、渋滞対策でもあります。生活道路と通過道路を分けていくことも必要であると思っています。資料の中にもバイパス化ということも書いています。図面も用意していますので後半、この道はあるけれど、こっちの方にこういう道を通したらどうかというご意見もいただけるとありがたいです。次の10年として図も書いていきたいと思っています。

副 町 長：10年後の姿ということでプランを立ててもらっていますが、10年後にバイパスが完成できるかという経費を含めて難しいですが、もう一つ先を見据えた皆さんからのアイデアをいただきたいと思います。例えば、通勤の方と生活利用者と分けるように、もう一つは企業の物流も分けられていないと日常の暮らしもそうですが、災害が起きた時も含めて考えていかなければいけないと思います。大胆なご意見をいただけると期待しています。空飛ぶ車でできれば道路は必要なくなるかもしれませんが、大胆なデザインをしていただければと思います。

会 長：1点お聞きしたいのですが山之上の旧JA倉庫の跡地は、物流か何かになっているの

ですか。

副 町 長：運送会社になっています。

会 長：あのあたりは大型の車両が通るので、対策が必要だと思います。

谷村委員：私も県道に面した家にありますが、感覚的に蒲生スマートができて、蒲生スマートの出入りの大型車が非常に多いです。

石橋委員：一日 550 便入ってきます。ご迷惑をおかけしているところがあると思います。

谷村委員：水口竜王線が数年前に開通し、ダイハツさんの敷地が非常に近寄っているところがありますが、もっと便利な道ができないかなと思っています。テストコースの東側です。もう一つは、旧蒲生町の人に聞いたのですが、バイパス用地の具体的な計画があるのですか。

副 町 長：報道されているので、本当は蒲生スマートインターから琵琶湖空港ができて名神・名阪を繋ぐラインができるだろうということですが、去年あたりから蒲生スマートインターではなく八日市の黒丸という話が出ています。そこから最後は新名神から名阪のラインというのが言われています。実際、1号線・8号線は大事な道ですが、竜王から離れるので、活気が離れてしまうと心配はしています。

谷村委員：大津に行く時、名神を使わずにどの道から行きますか。私も仕事で週2回くらい大津に行きますが、1号線のバイパスができて栗東湖南インターができて1号線がずっと伸びています。今、工事をしてもう近々できると思います。2号線になるのでしょうか、立命館・滋賀医大の道とバイパスをつないでいます。そのわき道を通って行っていますが8号線や旧1号線通らずに信号も少なく非常に便利です。周辺の大きい道が改修されている中で、8号線についても10年以内に具体化してくるのではないかと思います。もうつながるのでしょうか。

副 町 長：おそらく国体までにはつながってくると思います。計画があるということで、私も8号線を含めて国の計画に乗せてほしいと要望しています。錦の御旗ではないですが、総合計画に竜王町はこうであると夢を構想であっても書き上げてやっていくというのが総合計画の値打ちになります。

会 長：この後グループワークでも話をしてもらいたいと思いますので議事は終了させていただきます。それでは進行を事務局にお返しさせていただきます。

4 グループワーク

事 務 局：ここからは隣のテーブルに移って、機能別の土地利用の方針ということで、まちづ

くりの核、まちづくりの拠点、まちづくりの軸、それから全体の基盤になる安全・安心に対してグループワークを行っていただきます。資料に書いてあるものは町で考えたものですが、もっとこんなことがあるだろうとか、道路だとこのあたりがいいのではないかとといったことも含めてご意見をいただけるとありがたいです。総合計画に盛り込み、しっかりやっていくという目標を持っていきたいと思います。その中で県や国に伝えることもありますので、ご意見やアドバイスをいただければと思います。

《土地利用に関するグループワークの実施》

事務局：活発なご議論をいただきありがとうございます。各グループでお話しいただいた内容を、両先生に紹介いただければと思います。谷口先生お願いします。

谷口委員：こちらのグループの発表をします。まず課題として、市街化調整区域がほとんどということで、適正な都市計画の指定ができていないことが問題ではないかということでした。また、中学までの自転車での通学距離が長く時間がかかること、道路が未整備なために危険な通学路であるということです。自転車道路として整備されたところがありますが、ほとんど利用者がいないという現状もあるという話も出ました。車社会は今後どう変わっていくかわかりませんが、交通軸に関して、図で示したような環状道路を作っていくのはどうかという大胆な発想も出てきました。課題として特に氾濫しやすい川がありますが、河川改修や護岸等を活用した道路整備が可能ではないかという話が出ました。また小学校・幼稚園の跡地を住宅街にするということですが、規模も小さく、非常に交通量の多い道路沿いでもあるので商業地としても適しているのではないかと、その方が、価値が高くなるのではという話もありました。開発、都市計画と農政と国土交通省絡みと、板挟みの状況で開発が進まないけれども、ここは竜王町としての姿勢をはっきりと打ち出していくべきではないかという話もありました。大まかにはそのようなところですが、もっといろいろなアイデアも出てきましたので最終的にはまとめてもらえればありがたいです。個人的には可能性は非常にあるという印象でした。そういったことをできるだけ実現していける総合計画にして、それを国に持って行ってドンと竜王町の意気込みを示していただければと思います。

井手委員：こちらのグループですが、課題として出たのが、このあたりの細い道が湖南市への抜け道に使われているようで、朝夕の通勤時に混んでいて困っているとのこと。あるいは、このあたりも交通量が多くて困っているということから話が始まりました。その関係から道路の話に集中しましたが、最終的には町内ですと、核となるところへのアクセス道路をいかに整備するかということです。曲がっているところがあたりと不便なのでアクセス道路をきちんとしなければいけないという話でした。町の外の拠点となる地点と町内を結ぶアクセス道路も必要というところで、特にJRです。近江八幡駅・篠原駅に直接抜ける道ができれば、竜王町が京阪神の通勤圏

内になるということです。また竜王町の子どもたちが町外の高校などに通学できるようになります。そのあたりが一番欲しいというお話になりました。中心核にいろいろな機能が整備されるのはいいことですが、主だった意見としては、1箇所に集中するのではなくて、機能的にはバランスよく分散されている部分も必要ではないかということでした。特にスーパーなどに関しては、西側の団地や国道8号線のかがみの里のあたりに生活利便施設がある方がいいのではないかという話がありました。安全・安心については日野川の蛇行の問題です。竜王町の場合、安全・安心という意味では日野川の洪水への対策が中心的な課題になるのということでお話がありました。

事務局：それぞれのグループのご意見をいただきましてありがとうございました。地図上に落とし込んだ意見と、シートに書き込んでいただいた内容も踏まえた形で、あまり現実的になりすぎず、夢を描く部分も総合計画の中に取り込んでいければと思っています。

5 その他

事務局：次回の内容と日程について説明をします。今回は12月16日（水）19時からこの防災センターで開催します。土地利用の話をさせていただき、前回は将来人口、その前がまちの将来像という形でしたので、これを取りまとめて一定の構想案をお示しし、議論をしていただき、基本構想を固めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。閉会にあたりまして、勝見副会長からご挨拶をいただきます。

6 閉会

副会長：夜遅い時間までお疲れさまでした。本日も個人的に気になるワードが出てきました。そのワードは「川」です。竜王町は天井川の数が全国的にみても多いところです。町名の竜王も、そもそも竜という文字が昔から蛇などと同じように川沿い・洪水などのようなものを連想させる漢字であると聞いています。竜王町もハザードマップ等を見ると洪水のリスクが非常に高いです。町の面積に対して川が非常に多い印象があります。これも竜王の特徴の一つであり、ダイハツがあったり、アウトレットがあったり、コンパクトシティができたというのも竜王の特徴です。今後そういった中で、計画を策定するにあたっては特徴に合わせた計画を作成していただきたいと考えています。今日も面白い会でした。今後、連続になりますがご協力のほどよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。閉会にあたりまして総務主幹がお礼を申し上げます。

総務主監：遅くまで熱心にお話・アイデア出しをしていただきありがとうございました。お話を聞かせていただいて夢のような話もありましたが、そこからどんどん具体的な話

になっていった現実味を感じられるような、そういう話が聞けたと思います。今日の話を総合計画に反映し、皆さんの思いを乗せて作っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。年内にもう一度予定をしていますが、またよろしくお願いいたします。